

# ナガエツルノゲイトウ識別のための技術情報の作成

福島県農業総合センター浜地域研究所

部門名 水稲-水稲-雑草防除

担当者 吉川学、浅井元朗（農研機構）、齋藤隆、佐藤弘一、南隼人

## I 新技術の解説

### 1 要旨

2024 年にいわき市で確認された特定外来生物ナガエツルノゲイトウは、茎や根の断片からも再生し、刈り払いにより分布を拡大するおそれがある。そこで、本種の正確な識別と適切な防除方法の選択が重要であることから、農業者向けの技術情報を作成した。

- (1) 本種の特徴は、葉が倒卵型で先がやや尖った形状を示し、茎に対して対生する。茎は中空で表面が滑らかである。花は節から長い花柄を伸ばし、その先端に球状の花をつける（図 1）。
- (2) 浜通り南部における類似する植物であるスベリヒユ、シロツメクサ、イボクサ、アメリカタカサブロウの 4 種を選定した。識別点を（3）に示す。
- (3) スベリヒユは先端の丸い肉厚な葉が互生し、葉裏は赤紫色で、黄色い花をつける。シロツメクサは、葉が 3 枚の小葉からなり、花が一回り大きい。イボクサは葉が互生し、線形で葉柄を持たない。アメリカタカサブロウは、茎表面に毛が生え、鋸歯のある葉と平たい形の花を持つ（図 2）。

### 2 期待される効果

- (1) 農業者、営農指導員、普及指導員などによる本種の正確な識別と適切な防除により、発生実態把握と拡大防止が可能となる。

### 3 適用範囲

- (1) ナガエツルノゲイトウ発生地域の農業者、市町村、JA、県関係機関

### 4 普及上の留意点

- (1) 同定に使用した植物体は適切に処分し、水路や農地には絶対に廃棄しないこと。
- (2) 本成果は浜通り地方南部に適した技術情報とするため、いわき農林事務所等と作成したものである。
- (3) 本種の防除法については令和 6 年度福島県病虫害発生予察情報特殊報第 1 号を参照のこと。
- (4) 本資料は、今後の研究成果を反映し、随時更新していく予定である。

## II 具体的データ等

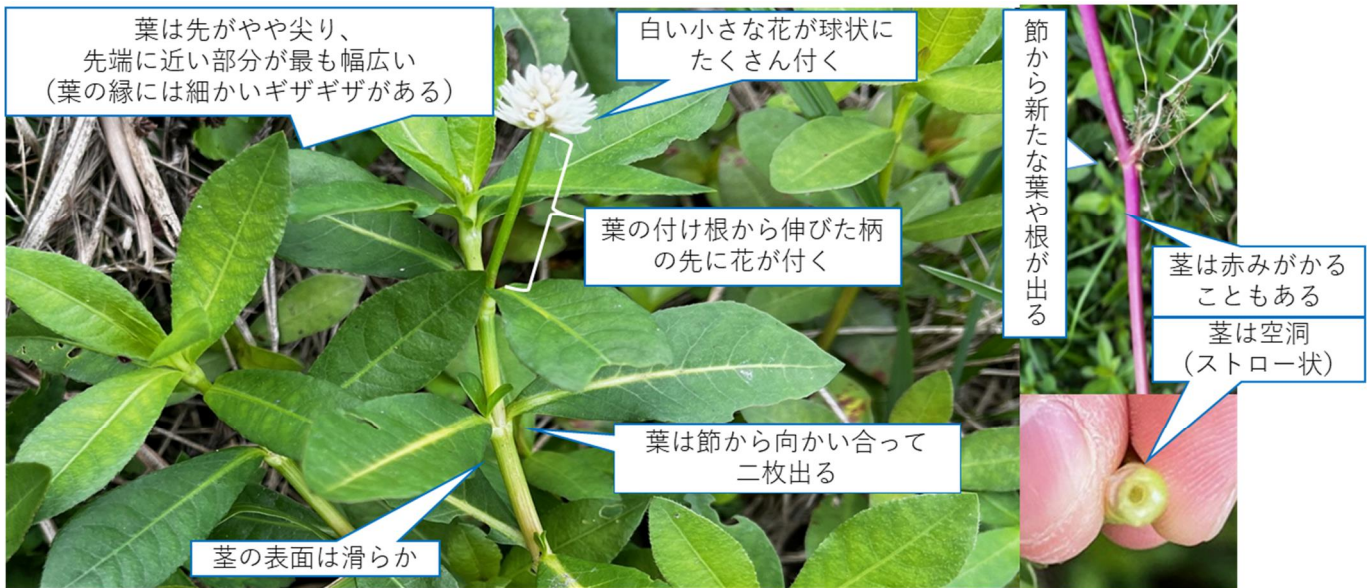


図1 ナガエツルノゲイトウの形態的特徴



図2 類似植物との見分け方のポイント

## III その他

### 1 執筆者

吉川学

### 2 成果を得た課題名

(1) 研究期間 令和3～7年度

(2) 研究課題名 浜通り地方に適した大規模水田利用支援技術の開発

### 3 主な参考文献・資料

- (1) 「水路やため池の通水障害を起こす外来生物の見分け方\_ナガエツルノゲイトウ」(農林水産省)
- (2) 「令和6年度福島県病虫害発生予察情報 特殊報第1号-ナガエツルノゲイトウの初確認について-」(福島県病虫害防除所)

※写真提供：浅井元朗氏（農研機構）